

〒500-8384 岐阜県岐阜市藪田南5-14-53  
ふれあい福寿会館 第1棟 6階  
FAX:058-275-6066 TEL:058-213-6786

<http://www.gifudeafcenter.jp/>

E-mail: [gifudeafcenter@waltz.ocn.ne.jp](mailto:gifudeafcenter@waltz.ocn.ne.jp)



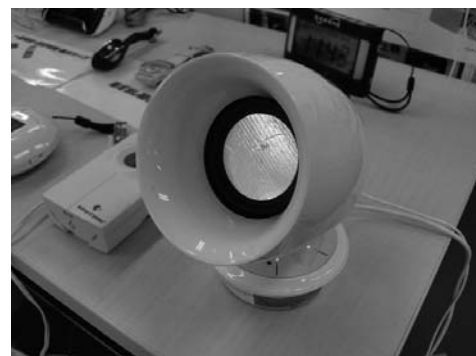
## ふれあい Week が開催されました！



情報センターの秋の恒例イベントになっています「情報センターふれあい Week」を、本年も11月11日（水）～11月16日（月）の期間で開催いたしました。

今年も初級手話教室をはじめとする様々な企画・講座を開催し、たくさんの方に来所いただきありがとうございました。その様子を写真を交えてご紹介したいと思います。

昨年から実施している福祉機器の展示・体験コーナー。通常はパンフレットで説明するだけですが、例えば、振動式目覚まし時計の振動の強さや、フラッシュライトの明るさなどは、なかなかうまく伝えることができません。



そこで、実際に商品を手にとってもらい、振動の強さやフラッシュライトの明るさを体験してもらうことで、ご自身が購入される機器選定の参考になるとと思います。

展示機器には機能が新しくなった製品もあり、無線式の呼び出し装置は呼びだされた相手が気づいたかどうか分かるようになっていました。

さらに、今回は写真右側の卓上型対話支援システムのコミュニケーション（COMUOON）もお借りする事ができました。（70db程度の感音性難聴の方に効果があるとホームページに記載）このスピーカーから出力される音声は不要な雑音を取り除き、対象者に対し拡散すること無く、真つすぐに届く指向性があるため聞こえやすさが向上します。実際に体験され、効果を実感された方もいらっしゃいました。



こちらも、今回新たに企画した催しで、聴覚障害者の方の作品展です。今回の展示は写真、手作りバツク、木工模型。

木工模型は、設計図など全てを自分で考えて、一つ一つ作り上げている作品です。展示した作品は県内や名古屋市の作品展で表彰された力作で、スペースの都合上、全てを展示することができませんでしたが、また別の企画で再現できればと思っています。



ふれあい Week の期間中に特別企画として、スマホ・タブレット教室と、コミュニケーション支援アプリとして評判の「UDトーク」の講習会を開催いたしました。

スマホ・タブレット教室はテーマを写真の撮影・保存・編集とし、特別なアプリを利用すること無く、デジタル一眼レフカメラ並のキレイな写真を撮る方法や、編集で画像の色や画質を調整したりと、スマホ機を利用しながら実際に体験していただきました。企画担当者もシャッターを

押すだけの撮影しかしたことがなく、詳細な調整ができることを初めて知る事ができました。

UDトークの講習会では初めての企画ということもあり、手話通訳・PC 要約・UDトークの音声認識画面の3タイプの方法を提示して、講習を進めました。参加者の中には既にアプリを利用されている方もいらっしゃるようで、いろんな場面での利用方法があることも知ることができました。



### 平成27年 聴覚障害者向けソフト制作担当職員研修会に参加しました

平成27年11月11日(水)～13日(金)、群馬県聴覚障害者コミュニケーションプラザにて、標記の研修に参加してきました。

現在、著作権の改正について既存の放送番組に手話や字幕を付加し、貸出を行うことについて、明確なルールが示されていないため、どの施設も制作に手を出しにくい状況が続いていました。今回の研修では、ある程度のルールが示されたので、当施設でも一歩進んで試験的に制作に取り組もうかと考えております。

また、自主映像作品の作り方、基本・応用コースに分かれての疑問解決など、日頃一人で悩んでつまづいている部分も全国の担当者と交流する事で、意外な解決策が見つかることがあり、とても充実した研修会となりました。



来年度は兵庫県での開催予定です。



手話は言葉 ～デフムービーって何だろう～

第12回 さがの映像祭

2016 1/23[土]～24[日]

長州ファイブ

1/23

1/24

奇跡のひと マリーとマルグリット

ワークショップ

- 1 最新映像クリエイター ーはじめるのー 1/23 11:00～ 会場: 京大11号館
- 2 映像制作コンクールつくる人×見る人 1/23 13:00～ 会場: 京大11号館
- 3 字幕 ー字幕の「オン」の力! 1/24 11:00～ 会場: 京大11号館

## 第12回 さがの映像祭のご案内

CS障害者放送統一機構と全国手話研修センターは、2004年より聴覚障害者の映像祭を開催しています。

聴覚障害者が作成した映像作品コンクールには、毎年全国から手話で物語が進行するドラマや、映像と字幕を組み合わせたアニメーションなど、多彩な作品が集まります。

これまでの11年間に寄せられた作品は、104点にのぼります。「目で聴くテレビ」では、それらの作品を選んで放送しています。岐阜県からは、岐阜県立岐阜聾学校の「森の中の大きな冒険」が2012年に特別部門優秀賞を受賞されました。2016年1月23・24日の2日間、京都駅前の「響都ホール」で開催します。

前述の映像作品コンクール応募作品の上映のほか、映画を二本上映します。邦画「長州ファイブ」は、幕末の激動期にイギリスへ密航し、帰国後近代日本の礎を築いた五人の志士の物語です。

そのうちの一人山尾庸三はイギリスの造船所で手話を使って話そうあ者を見て、聾啞教育を志した人です。映画には、イギリスの手話が登場します。

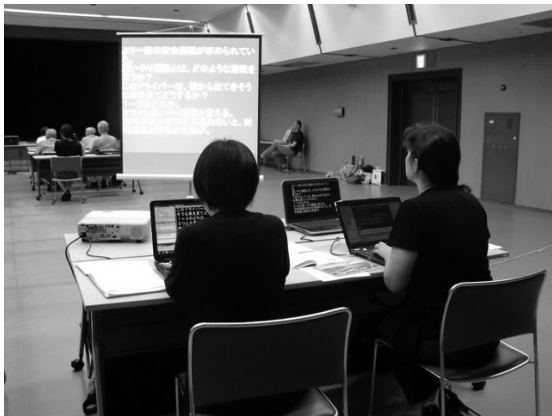
# 平成26・27年度要約筆記者養成講座を終えて

岐阜県要約筆記者養成講座は平成26年9月に開講し、約1年間にわたり、平成27年10月に無事修了いたしました。修了者は手書きが6名、パソコンが2名です。

長丁場にもかかわらず、遠方の方もいらっしゃいましたが、みなさん意欲的に通われ、それが受講態度にも表れていました。

要約筆記奉仕員養成講座とは異なり、専門知識の幅が広く、より深い内容で学ぶことができたと思います。また、実技実習の時間も多く、より細かな指導が受けられ、技術の習得についても違いがよくわかります。

1年間、熱心に講座に通われた受講生の皆さんの声を一部紹介します。



・講師の先生方のわかりやすい説明で1年間受講することができ感謝しています。

・人数が少ないので、もう少し手書きの人とパソコンの人と交流できたら良かったと思いました。手段は違ってても、同じ事業の担い手となる仲間なので、仲良く技術を高めあっていきたいです。

・要約筆記がどのような行為か？という段階での受講の始まりでした。技術的なことはもちろんですが、憲法、社会福祉、日本語、漢字・仮名、文の構成、耳の仕組み、聴覚障害者の生活・心

理など多くのことを学ばせてもらいました。

・技術的なことだけでなく、利用者さんに寄り添う支援が大切なことを学びました。

・要約筆記を利用する難聴者、中途失聴者の人々が社会参加できるようになるといいと思います。

・要約筆記者とは、大変責任のある仕事であると改めて思いました。技術も必要ですが、技術だけでなく、責任を全うするためには知識もかなり重要であることを、講師の先生のお話の中で、強く感じました。

・楽しく学ばせていただいたことが、一番の財産でした。

・要約筆記の知識すら無かったけど、要約筆記、ノートテイクを必要とされる方がたくさんいることがわかり、学習できたことは良かったと思います。

・周りに聴覚に障害のある人や社会福祉を利用する人がいないので、認識がうすかったのが、ずいぶん意識が変わりました。

・この1年間はあっという間で、講師の先生方、同じ受講生の皆さんに支えられ、何とか頑張ることができました。

・初めはとても気軽な気持ちで参加したので、本格的な講義でとても驚き、続けられるかとても悩みながらでした。なんとか続けてこれたことはよかったです。



本当に1年間お疲れさまでした。みなさんの思いがさらに深まり、聴覚障害者に寄り添って活動できる要約筆記者が増えることを期待しています。

これからも、お互いに刺激し励まし合いながら頑張りましょう。



## 自主制作ビデオのご案内

センターだより32号でお知らせしておりました。自主制作ビデオのむそたろう氏による「ちよつと一寸コラム」No.3、No.4が完成し、貸出を開始しております。



また、同時期に制作いたしました「ろう者が語る戦争体験」も貸出を開始しております。

この作品は、戦争の体験をろう者に手話で語って頂いた作品になります。第1弾は、高山市在住の川原孝枝さん。

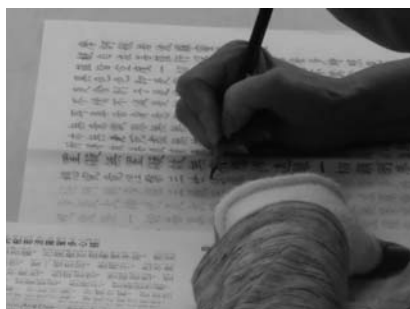
夏頃の新聞にインタビューを受けた記事が掲載されていたので、ご存じの方も多いかと思えます。上の画像は戦時中に実際に爆撃の予告を知らせるために、上空からばらまかれたビラになります。こういった貴重な資料も映像として、収録させて頂きました。

両作品ともにライブラリー登録者であれば、どなたでも借りられます。ぜひ、ご利用になってみてください。

※これらの作品には、あえて字幕はつけておりません。



## 生活講座開催中



### ★写経を体験してみよう★

初めての試みとなる写経体験で参加者は8名でした。

実際にお寺の住職さんに来ていただき、仏教についての話を分かりやすく色んなお話をしてくださいました。お話の内容は、宗教の様々な分類・祈りの姿・坐禅などでした。

『坐』の字を見てください。土の上に二人の人がいる様子を表しています。

二人というのは、自己と自己を見つめるもう一人の自己を表すそうです。他人の姿はよく見えても、自分のことは、なかなかわからないものです。

続いて写経を体験しました。写経とは字が上手下手に関係なく誰でも書けるものです。心を落ち着かせて焦らずにゆっくりと字を写しながら書くものです。文字は不思議なもので心が焦っていると、文字も乱れます。逆に心が落ち着いていると文字はきれいになります。

写経はお寺で定期的に行われているそうなので、気軽に体験してみたいはいかがでしょうか？

メール配信サービスに登録されている方へ（携帯電話）

登録してもメールが届かない場合、迷惑メールの設定を確認してみてください。また、特定のメールアドレスを受信許可する時は [gifuchoucenter@drive.ocn.ne.jp](mailto:gifuchoucenter@drive.ocn.ne.jp) を。

ドメイン登録する場合は [@drive.ocn.ne.jp](mailto:@drive.ocn.ne.jp) で登録して下さい。

※登録用メールアドレスとは異なりますのでご注意ください。

困ってます！



左のQRコードを利用すると、情報センターのブログ、LINE、facebookに簡単にアクセスできます。ぜひご利用下さい。

